



2024年2月29日

各位

会社名 ENECHANGE 株式会社  
代表者名 代表取締役 CEO 城口 洋平  
(コード番号：4169 東証グロース)  
問合せ先 執行役員 丸岡 智也  
(TEL 03-6635-1021)

### よくある質問と回答 (2024年2月)

日頃より、当社へのご関心をいただきありがとうございます。今月投資家様より頂戴した主なご質問とその回答について、下記の通り開示致します。

なお、本開示は投資家様への情報発信の強化とフェアディスクロージャーを目的に、毎月月末を目途に開示するものです。回答内容については、時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性があります。直近の回答内容を最新の当社方針として回答を記載しております。

#### Q1. EV 充電事業の開示 KPI を受注数から設置台数に変えられたのはなぜか。

今後のストック型収益の先行指標として、目的地設置口を KPI としていく方針です。これには、受注数よりも設置口数の方が EV 充電事業の進捗を示す直接的な結果であり、入札制度により受注口数が必ずしも設置口数の先行指標とならないことも背景にあります。2023年12月期決算説明資料においては、P17に目的地充電(6kW充電器)の設置口数を記載しており、今後、こちらのページを更新する形で KPI を開示してまいります。なお、2023年12月時点で2,076口となっております。

こちらの数字に関しては月次で EVsmart (<https://evsmart.net/statistics-of-charging-spots/>) で御覧いただけますので、ご活用ください。

#### Q2. 今年度から EV 充電インフラに関する補助金申請が合計で 360 億と昨対比で倍増以上していると思いますが、今後の見通しを教えてください。

2024年度の設置分に関しては合計で360億円の補助金予算規模であり、これらは3月・5月・8月の3回に分けて募集があります。3月募集開始の105億円分に関しては、既にその内訳が公表されており、急速充電60億円・普通充電45億円となります。当社としては昨年度受注していた受注残に加えて継続的に受注数も重ねているため、受注数が十分に積み上げており、3月申請分から補助金申請を行ってまいります。

#### Q3. Bloomberg に出演され、グローバルでも露出が増えていくように思いますが、海外 IR 等も強化される方針でしょうか。

2022年から2023年にわたる2年間のEV充電事業への先行投資フェーズを終え、2024年は黒字化フェーズの初年度となることから、海外機関投資家をはじめとした投資家層形成を強化してまいります。その一環として、Bloombergへの出演等の機会を頂き、既に多くの海外投資家からIR面談のご依頼を頂いております。これに対し、1年の中で大半をイギリス・ロンドンで過ごす城口は、比較的海外投資家とのMTGなどを組みやすいため、城口自ら対応していく形でスケジュールを組んでおり、日本のみならず、グローバルに認められるGX企業として企業価値向上を図ってまいります。

**Q4. 資金調達**は2/26に予定通り入金されたか。また、この資金調達により利益や時価総額がどのように成長していくのか。

今回の調達は無事に実行され、2/26に入金も完了しております。（詳細に関しましては、2/26に開示しました「第三者割当による新株式発行の払込完了に関するお知らせ」をご参照ください。）将来的な時価総額については、業績等のみならず、テーマ性や資本市場のモメンタムにも左右されることから、明確な水準に関してはお答えできかねますが、利益面に関してはプライム上場の基準を満たすような2年で経常利益25億円以上を目指していきたいと考えております。当社がガイダンスで示している調整後営業利益については、2024年及び2025年の2年間で25億円以上となることは想定しておりますが、2025年～2027年程度の時間軸の中で、2年間で25億円以上を目指していきます。ゆえに、調整後営業利益の基準として、1億円、2億円の利益をずっと出していきより、2桁億円の利益を出していく方針です。

**Q5. 個人投資家説明会**において競合他社の方がご参加されるようでしたが、今後の対応方針等を教えてください。

当社はこれまで、より多くの投資家の方々に声をお届けし、直接コミュニケーションを図ることを目指して、機関投資家様のみならず個人投資家様向けにも説明会を開催して参りました。参加された皆様からの質問や意見は、事業運営において非常に有益なものが多く、また新規の投資家の方々の関心を引く契機ともなり、非常に重要なコミュニケーションの機会として機能してきました。

一方で、投資目的以外で情報を収集するために匿名で参加される方がいることを確認しました。今後の対策として、氏名が確認できないアカウントの参加をご遠慮いただくこと、そして一部の質問についてはスキップさせていただくことがある対応を取らせていただきます。多くの個人投資家の皆様にご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。ご理解いただけますと幸いです。

以上